## 平成 30 年度 第 5 回 加賀市地域公共交通会議

日時 平成 31 年 2 月 22 日 (金) 午後 1 時 30 分から 場所 加賀市市民会館 第 2 会議室

1	開	会	
2	報	告	資料頁
		地域公共交通の利用状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	具 <b>行</b> 只 1
3	議	事	
	(1)	加賀温泉バスの運行内容の見直し(案)について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 3
	(2)	キャンバスの運行内容の見直し(案)について・・・・・・・	• 4
	(3)	乗合タクシーの運行内容の見直し(案)について・・・・・・・	• 6
4	₹ (	の他	
5	閉	会	

# 平成30年度

# 第5回 加賀市地域公共交通会議

資 料

日時:平成31年2月22日(金) 午後1時30分~

### 平成30年度 地域公共交通の利用状況について

#### 1 路線バス利用実績

(1) 加賀温泉バス

(単位:人)

(7) 加克温水	(1) 加負温水・バス (半位・八)																			
	平成27年度 平成28年度 平成29年度							平成30年度												
乗車人数	1か月平均	1か月平均	昨年度比	4~1月計	年間計	1か月平均	昨年度比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	4~1月計	1か月平均	昨年度比
温泉山中線	25, 081	23, 194	92. 5%	217, 915	267, 568	22, 297	96. 1%	20, 553	22, 627	20, 115	19, 396	23, 194	24, 540	21, 419	25, 092	25, 096	23, 932	225, 964	22, 596	103. 7%
温泉片山津線	2, 717	3, 452	127. 1%	38, 698	47, 487	3, 957	114. 6%	3, 648	4, 022	3, 545	3, 469	4, 079	4, 245	3, 838	4, 428	4, 400	4, 209	39, 883	3, 988	103. 1%
吉崎線	2, 821	2, 832	100. 4%	34, 104	41, 465	3, 455	122. 0%	2, 576	2, 764	2, 563	2, 235	2, 772	2, 792	2, 247	2, 442	2, 504	2, 424	25, 319	2, 532	74. 2%
山代大聖寺線	3, 578	3, 293	92. 0%	26, 825	32, 371	2, 698	81. 9%	2, 601	2, 848	2, 623	2, 489	2, 812	2, 804	2, 729	2, 905	2, 773	2, 592	27, 176	2, 718	101. 3%
温泉大聖寺線	1, 881	2, 387	126. 9%	20, 320	24, 841	2, 070	86. 7%	2, 002	2, 182	1, 878	1, 944	2, 231	2, 393	1, 948	2, 173	2, 276	2, 195	21, 222	2, 122	104. 4%
合 計	36, 079	35, 159	97. 5%	337, 862	413, 732	34, 478	98. 1%	31, 380	34, 443	30, 724	29, 533	35, 088	36, 774	32, 181	37, 040	37, 049	35, 352	339, 564	33, 956	100. 5%

- ※ 昨年度比は、平成28・29年度においては各年度の1か月平均を、平成30年度においては平成29年4月~平成30年1月計と平成30年4月~平成31年1月計を比較
- ※ 小数点第一位又は第二位を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。
- 〇 平成27年3月より、「温泉大聖寺線」の新設及び「温泉片山津線」、「吉崎線」の延伸を行った。また、「吉崎線」については、同じく平成27年3月より土・日曜・祝日の運行を開始した。
- 〇 平成28年4月より、加賀市医療センターの開院に伴い、「温泉山中線」、「温泉片山津線」、「吉崎線」及び「温泉大聖寺線」について医療センターへの乗り入れを開始した。
- 〇 平成29年4月より、利用が増えている「温泉片山津線」を増便し、また「温泉大聖寺線」の利用が少ない時間帯の便を減便した。
- 今年度は、「温泉片山津線」に「湯の谷橋」バス停を、また「吉崎線」に「黒瀬」、「黒瀬西」及び「保賀西」バス停を設置した。

(2) キャンバス片山津・橋立循環線

(単位:人)

	平成27年度	平成2	8年度	平成29年度			平成30年度													
乗車人数	1か月平均	1か月平均	昨年度比	4~1月計	年間計	1か月平均	昨年度比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	4~1月計	1か月平均	昨年度比
7:05発	69	145	210. 1%	3, 553	4, 104	342	235. 9%	456	582	609	483	233	429	521	474	444	499	4, 730	473	133. 1%
12:20発 (~H29.3)	36	46	127. 8%																	
17:10発	37	50	135. 1%	872	998	83	166. 0%	148	202	261	172	90	192	240	234	194	216	1, 949	195	223. 5%
18:45発 (H29.4~)				759	817	68		92	111	101	68	45	73	120	98	67	109	884	88	116. 5%
合 計	143	240	167. 8%	5, 184	5, 919	493	205. 4%	696	895	971	723	368	694	881	806	705	824	7, 563	756	145. 9%

- ※ 昨年度比は、平成28・29年度においては各年度の1か月平均を、平成30年度においては平成29年4月~平成30年1月計と平成30年4月~平成31年1月計を比較
- ※ 小数点第一位又は第二位を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。
- 平成28年4月より、加賀市医療センターの開院に伴い、医療センターへの乗り入れを開始した。
- 平成29年4月より、通学利用に特化した運行とするため、利用が少ない12:20発便を廃止し、18:45発便を新設した。また、大聖寺実業高校への乗り入れを開始した。
- 〇 今年度は、日曜・祝日の運行を取り止めた。また、10月より湖北地区への乗り入れを開始し、路線名を「片山津・橋立循環線」に変更した。

(単位:人) 2 乗合タクシー利用実績

<u> </u>	メソン一个	平成27年度		0 to the		<del></del>	0 fr dr								T + 00 + ÷					\ <del> </del>	·山·人/
		(H27. 10月~)	平成2	.8年度 		半成2	9年度								平成30年度						_
乗車	人数	1か月平均	1か月平均	昨年度比	4~1月計	年間計	1か月平均	昨年度比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	4~1月計	1か月平均	昨年度比
エリア	行き	124	229	184. 7%	2, 386	2, 801	233	101. 7%	275	256	266	282	335	269	310	317	306	261	2, 877	288	120. 6%
1	帰り	74	214	289. 2%	2, 293	2, 762	230	107. 5%	278	318	322	322	360	299	336	343	295	243	3, 116	312	135. 9%
	計	199	444	223. 1%	4, 679	5, 563	464	104. 5%	553	574	588	604	695	568	646	660	601	504	5, 993	599	128. 1%
エリア	行き	14	35	250. 0%	1, 169	1, 378	115	328. 6%	77	70	80	75	66	65	66	89	73	69	730	73	62. 4%
2	帰り	12	40	333. 3%	1, 221	1, 457	121	302. 5%	79	89	80	97	78	69	92	90	86	99	859	86	70. 4%
	計	26	75	288. 5%	2, 390	2, 835	236	314. 7%	156	159	160	172	144	134	158	179	159	168	1, 589	159	66. 5%
エリア	行き	38	175	460. 5%	2, 236	2, 798	233	133. 1%	279	308	293	297	310	262	305	277	302	238	2, 871	287	128. 4%
3	帰り	33	178	539. 4%	1, 991	2, 516	210	118. 0%	233	263	251	262	278	231	297	254	276	225	2, 570	257	129. 1%
	計	71	353	497. 2%	4, 227	5, 314	443	125. 5%	512	571	544	559	588	493	602	531	578	463	5, 441	544	128. 7%
	行き	176	440	250. 0%	5, 791	6, 977	581	132. 0%	631	634	639	654	711	596	681	683	681	568	6, 478	648	111. 9%
合 計	帰り	119	432	363. 0%	5, 505	6, 735	561	129. 9%	590	670	653	681	716	599	725	687	657	567	6, 545	655	118. 9%
	計	295	872	295. 6%	11, 296	13, 712	1, 143	131. 1%	1, 221	1, 304	1, 292	1, 335	1, 427	1, 195	1, 406	1, 370	1, 338	1, 135	13, 023	1, 302	115. 3%

- ※ 昨年度比は、平成28・29年度においては各年度の1か月平均を、平成30年度においては平成29年4月~平成30年1月計と平成30年4月~平成31年1月計を比較
- ※ 小数点第一位又は第二位を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。
- 平成27年10月より、市内全域で運行を開始した。
- 運行開始時より、利便性向上のため、運行ダイヤや共通エリアの範囲、各町停留地点の見直しを、また、周知活動等を継続的に行っている。
- 今年度は、共通エリアの拡大や乗車券の見直し、土日祝ダイヤの増便などを行った。

#### 【参考】

- ※ 各エリアに含まれる地区
  - エリア① 大聖寺、橋立、三木、三谷、南郷、塩屋エリア② 片山津、作見、金明、湖北、動橋、分校

  - エリア③ 山代、別所、庄、勅使、東谷口、山中温泉、河南、西谷、東谷
- ※ 「行き」:各地区から加賀温泉駅へ向かう便 「帰り」:加賀温泉駅から各地区へ向かう便

## 議事(1)

### 加賀温泉バスの運行内容の見直し(案)について

#### 「温泉大聖寺線」の運行内容の見直しについて

「温泉大聖寺線」は、大聖寺や松が丘から加賀温泉駅周辺への通院・買い物のための移動手段として、平成27年3月から実証運行を行っている。

利用状況については、今年度、加賀温泉バス㈱が実施した乗降調査では、1 便あたりの乗車人数が平日3人、土日祝日2人程度と、当初の想定よりも利用 が低迷している状況である。

また、乗務員確保も年々問題となってきている。

これらを踏まえ、「温泉大聖寺線」を現行の7往復から5往復に調整する。

【参考】ダイヤについて

#### (現行ダイヤ)

加賀温泉駅	かが交流 プラザさくら
7 : 20	7 : 47
9:00	9 : 27
10 : 10	10 : 37
11 : 15	11 : 42
13 : 00	13 : 27
16 : 05	16 : 32
17 : 30	17 : 57

#### (変更後のダイヤ)

加賀温泉駅	かが交流 プラザさくら →
7:30	7:57
9:35	10:02
13:05	13:32
15:15	15:42
17:05	17:32

かが交流 プラザさくら ————	加賀温泉駅
7 : 55	8 : 22
9 : 35	10 : 02
10 : 45	11 : 12
11 : 50	12 : 17
13 : 35	14 : 02
16 : 40	17 : 07
18 : 05	18 : 32



かが交流 プラザさくら 	加賀温泉駅
8:05	8:32
10:10	10:37
13:40	14:07
15:15	15:42
17:05	17:32

<sup>※</sup> このほか、JR や他の路線との乗り継ぎを考慮したダイヤ変更を行う。

## 議事(2)

## キャンバスの運行内容の見直し(案)について

#### 【片山津・橋立循環線】

#### 1 「柴山」バス停の移設について

昨年10月に新設した「柴山」バス停について、地元から「約半年間利用 してみたが、現在のバス停は集落の端であるため、次図のとおり、町の中 心部近くに移設して欲しい。」との要望が出ている。

ついては、利用者の利便性を向上させるため、次図のとおり「柴山」バス 停を移設する。



#### 2 定期券の販売価格の調整及び3ヶ月定期券の導入について

- (1) 定期券の販売価格の調整について 定期券の販売価格については、昨年度第3回会議で次のとおり承認をい ただいている。
  - ・定期券の販売価格は、市内を運行する他の路線バスと比較して非常に安 く、これらとの均衡を図る必要がある。
  - ・一方で、通学利用に特化しているため、便数は1日3便と少なく、利便性が高いとは言えない状況でもある。
  - ・これらのことを踏まえ、定期券の販売価格については、他の路線バスの半額程度である 6,000 円を目途に、段階的に調整していく。

ついては、来年度の定期券の販売価格は、今年度の1ヶ月4,000円から1ヶ月5,000円とする。

#### 【参考1】H29年度第3回会議資料より抜粋

年度	販売価格				
H30 年度(2018 年度)	4,000円				
H31 年度(2019 年度)	5,000円				
2020 年度	6,000円				

#### 【参考2】他の路線バスとの運賃・便数比較(現状)

路線	1回乗車	1ヶ月 定期券	便数
加賀温泉バス 山代大聖寺線 (中田~菅生町)	320 円	11, 380 円	往路3便 復路4便 合計7便
キャンバス 片山津・橋立循環線	300円	4, 000 円	往路1便 復路2便 合計3便

#### (2) 3ヶ月定期券の導入について

現在、定期券の種類は、1ヶ月定期券のみであるため、利用者からは、「毎月、定期券を購入するためだけに、まちづくり加賀事務所(JR 加賀温泉駅前)へ行くのは負担である。」との意見が出ている。

ついては、利用者の負担を軽減し利便性を向上させるため、<u>3ヶ月定</u>期券を導入する。また、販売価格については、14,000円とする。

#### 3 ダイヤ変更について

利用者の増加に伴い、利用者がバスの乗り降りにかかる時間が拡大しており、現行ダイヤでの運行が難しくなっている。このため、各バス停間の運行にかかる所要時間を見直し、ダイヤの変更を行う。

なお、朝便の各高校への到着時間と夕便及び夜便の各高校の出発時間に変更はない。

#### 【山まわり線・海まわり線・小松空港線】

#### 1 ダイヤ変更について

小松空港を発着する航空機のダイヤ改正に伴い、利用者の利便性を維持 するため、航空機との接続に考慮したダイヤの変更を行う。

## 議事(3)

### 乗合タクシーの運行内容の見直し(案)について

#### 1 共通エリアの変更について

現在、国道 8 号線における共通エリアは、「中代南」交差点からヤマキシ新加賀店までであるが、ヤマキシ新加賀店への利用が想定したほどいない状況が続いているため、国道 8 号線における共通エリアは「加茂」交差点までとする。

また、これに代わり、利用者の行き先として多い、<u>こころの病院を次図のと</u>おり共通エリアに加える。

「乗継ぎ」については、現行どおり、加賀温泉駅の「乗継地点」でのみできるものとする。

#### (現在の共通エリア)



### (変更後の共通エリア)



【参考】エリア外からの利用者数(H30.4.1~H30.12.31)

(単位:人)

施設	エリ	<b>7</b> ①	エリ	ア②	エリア③		
)他 a文	降り	乗り	降り	乗り	降り	乗り	
ヤマキシ新加賀店	4	4	3	3			
こころの病院	65	32			165	103	

#### 2 「加賀市医療センター」での乗車について

現在、乗合タクシーの予約締切時間は、始発時間の1時間前までとなって おり、診察の終了時間が予め分からない通院時の利用においては、帰り便の 予約が難しい状況である。

ついては、乗合タクシーの待機場となっている「加賀市医療センター」に 限り、直接、駐車場で待機しているジャンボタクシーに乗車できることとす る。(平日のみ)

ただし、追加便対応はしないので、定員に達した場合の予約なしでの乗車は不可とする。

#### 3 ダイヤ変更について

昨年、開催した「のりあい号利用者の会」で、複数の利用者から「加賀温泉駅 15 時発の便について、診察後に買い物をして利用しようとすると 15 時発では早い。出発時間をもう少し遅くして欲しい。」との意見が出た。このため、全エリアにおいて、平日の加賀温泉駅 15 時発の便を 15 時 40 分発に変更する。

また、利用者の増加に伴い、エリア①及びエリア③東谷コースの一部区間では、ダイヤ通りの運行ができていない状況である。このため、各区間の運行にかかる所要時間を見直し、ダイヤの変更を行う。

#### 4 高齢者の運転免許証自主返納支援について

現在、運転免許証を自主返納した高齢者に乗合タクシーのお試し乗車券を 2 枚配布している。近年、増加している高齢者ドライバーの事故を未然に防ぐ ために、高齢者へ自家用車に代わる移動手段を提供することで運転免許証の 自主返納を促進し、また、乗合タクシーの利用促進に繋げるため、このお試 し乗車券の配布枚数を 12 枚に拡大する。

ただし、本券の有効期限は半年間とする。

### 加賀市乗合タクシーへの「予約・配車システム」の導入について

加賀市乗合タクシーに「予約・配車システム」を導入することで、予約から 運行経路の作成、利用状況の把握等をシステム化し、オペレーターの負担軽減 を図るとともに、出発直前までの予約及びパソコンやスマートフォン等からの 予約を可能とし、利用者等の利便性を高める。

#### 1 オペレーターアプリについて(電話予約のみ)

予約センターのオペレーターが、利用者からの予約を受け付けるときや確認をするときに利用する。利用者や乗降場所の登録等の際にも利用する。(予約センターに常設)

利用者からの予約内容を入力すると、自動でドライバーにその内容が発信される

ため、ドライバーへの連絡に要していた時間を削減できるとともに、予約締切時間の短縮が可能となる。



#### 2 インターネット予約アプリについて

利用者がインターネット上から予約をするときに利用する。

予約センターへの電話とは別に、パソコンやスマートフォン等からの予約も可能と なる。最寄りの乗り場の自動検索機能や過去の乗降場所の履歴からの行き先の選 択等、利用者の利便性が考慮された予約が可能となる。





本システムを軸に地域交通の最適化を図り、 持続可能な地域社会の実現に貢献する。